



# なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

## さむ 寒くなるとたくさんのカラスが集まっているのはなぜ？

あつ

カラスと言うと、真っ黒で大きな鳥とひとくくりにされますが、カラスにも種類があります。山口県で年中見られるのは、ハシボソガラスとハシブトガラスの2種類です。

春から秋口にかけては、子育てをするために、縄張りを作って生活しますが、寒くなると同じねぐらに多くのカラスが集まって過ごします。そのため、寒い時期の夕方には同じ方向に向かって飛んでいるカラスの群れが見られるようになります。

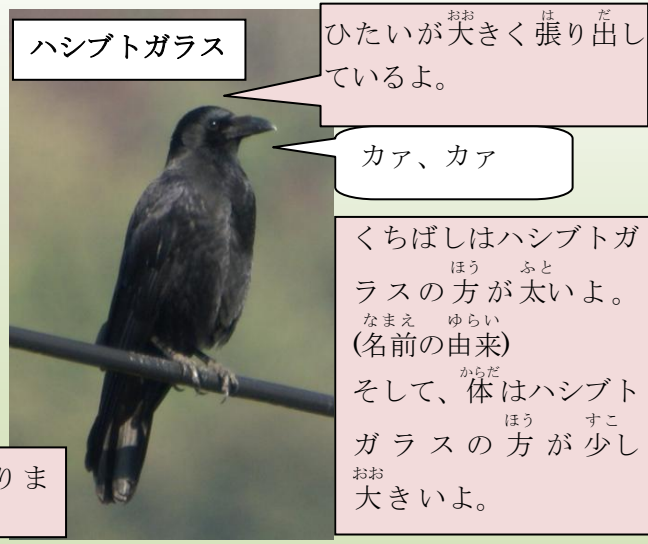


ハシボソガラス

ひたいは余り出ていないよ。

ガーア、ガーア

鳴き声に特徴があります。



ハシブトガラス

ひたいが大きく張り出しているよ。

カア、カア

くちばしはハシブトガラスの方が太いよ。  
(名前の由来)  
そして、体はハシブトガラスの方が少し大きいよ。

冬になるとユーラシア大陸から渡ってくるカラスがいます。ハシボソガラスに似たミヤマガラスと、小型でおなかや首回りが白いコクマルガラスです。  
これらのカラスは群れで行動するため、田んぼなどに集まってえさをとっていることがあります。



ミヤマガラス

ミヤマガラスの群れにコクマルガラスも混ざっていることが多くあります。



コクマルガラス

コクマルガラスには、全身が真っ黒の個体もいます。ほかのカラスとの見分け方は、体が小さく、「キュ、キュ」という特徴的な鳴き声です。